

## 『脂肪肝炎 (NASH) に新規薬剤治験開始 Vol. 2』

肝臓川柳

『新年は 新薬治験に 猛ダッシュ』



(ダッシュ・・・だっしゅ・・・ナッシュ・・・

NASH の患者さんから病気を奪取！)

今月は、先月ご紹介した、脂肪肝 (NASH) に対する新規薬剤についての続きをいたします。

胆汁酸の中のケノ デオキシコール酸から創製された

DSP-1747 (Obeticholic acid, 6-ECDCA) という新規薬剤です。

胆汁酸には色々な作用がありますが、

この DSP-1747 は FXR (※) を強く活性化する作用に特化した薬剤であり、

FXR 活性化により肝臓における種々の代謝関連酵素が誘導され、

肝内脂肪蓄積改善、線維化抑制、炎症抑制を来すとされています。

海外の臨床試験では脂肪肝患者さんへの有効性が確認されています。

今月より当院にてこの新規薬剤の治験がスタートします！！

今回の治験は、脂肪肝炎 (NASH) 患者さんに対して 72 週間投与を行い有効性を検討する  
無作為化二重盲検比較試験です。

肥満、生活習慣病の改善が難しい患者さんでも

脂肪肝炎が改善することが期待される薬剤であり、

不真面目な (体重コントロールが出来ない) 患者さんより熱視線を浴びています。

(※) FXR : Farnesoid X receptor (胆汁酸をリガンドとする核内受容体の一種)



これだけ覚えておけば損はない！

今 回 の ポ イ ン ト

今月より当院にて新規薬剤 (DSP-1747) の治験がスタートします。

海外の臨床試験では脂肪肝患者さんへの有効性が確認されており

肥満、生活習慣病の改善が難しい患者さんでも

脂肪肝炎が改善することが期待される薬剤であり、

不真面目な (体重コントロールが出来ない) 患者さんより熱視線を浴びています。

( 文 : 福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ッ俣和夫)